

1. 文化の中心「種子島」と「からいも」



種子島開拓センター(火鍋屋)

西之表市指定文化財(ヨンシーヤード)

種子島は、太古の昔から南島の中心であり、文化の中心地でした。種子島の開拓は遼
れる黒潮は、様々な文化を種子島に伝え、文化を育んできました。その代表格は、なん
と言っても「筑城」であることには間違いありません。「筑城伝来」は、その後の日本の
歴史を変えててしまうほどの大きな影響力がありました。

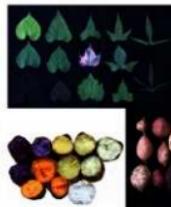
また、種子島は「民俗芸能の宝庫」といわれるほど、数多くの民俗芸能があります。

西之表市指定文化財に指定されている「ヨンシーヤード」は、遠く琉球より江戸時代の
跡わりごろ種子島に伝わったのではないかといわれています。

そして、現在でも大切に生産されている作物も伝
承してきました。

それこそが、今回の主役「カライモ」です。

カライモが、種子島に伝来したのは、1698年こと
でした。当時の島主種子島久基が琉球より取り寄せ
たという「カライモ」から物語は始まっていきま
す。



カライモって、どんな食べ物？

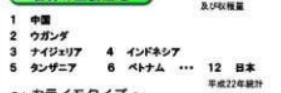
カライモは、九州をはじめ沖縄、関東において重要な栽培物です!!

- ・平野・台風などの自然災害が多い地域で生産が安定
- ・総放的な栽培でも生産性が高い夏採作物として重要
- ・肥料や農薬投入口量が少なく、環境への負荷が少ない
- ・用途や加工利用の幅が広く、農業・食品関連業界を支える

日本の主要産地



世界の主要産地



～カライモクイズ～

問題1

「甘藷伝来」に貢献した種子島久基は、鎌倉時代から種子島を治めていた種子島の島主です。では久基は、何代目の島主でしょうか？

答え → 2のパネルを見てね！

種子島牛耳

年	内容
1	1873年：日本最初の種子島牛耳が設立
2	1875年：種子島の名前が牛耳に改められる
3	1880年：種子島牛耳の本拠地となる
4	1881年：牛耳の本拠地となる
5	1882年：牛耳の本拠地となる
6	1883年：牛耳の本拠地となる
7	1884年：牛耳の本拠地となる
8	1885年：牛耳の本拠地となる
9	1886年：牛耳の本拠地となる
10	1887年：牛耳の本拠地となる
11	1888年：牛耳の本拠地となる
12	1889年：牛耳の本拠地となる
13	1890年：牛耳の本拠地となる
14	1891年：牛耳の本拠地となる
15	1892年：牛耳の本拠地となる
16	1893年：牛耳の本拠地となる
17	1894年：牛耳の本拠地となる
18	1895年：牛耳の本拠地となる
19	1896年：牛耳の本拠地となる
20	1897年：牛耳の本拠地となる
21	1898年：牛耳の本拠地となる
22	1899年：牛耳の本拠地となる
23	1900年：牛耳の本拠地となる
24	1901年：牛耳の本拠地となる
25	1902年：牛耳の本拠地となる
26	1903年：牛耳の本拠地となる
27	1904年：牛耳の本拠地となる
28	1905年：牛耳の本拠地となる
29	1906年：牛耳の本拠地となる
30	1907年：牛耳の本拠地となる
31	1908年：牛耳の本拠地となる
32	1909年：牛耳の本拠地となる
33	1910年：牛耳の本拠地となる
34	1911年：牛耳の本拠地となる
35	1912年：牛耳の本拠地となる
36	1913年：牛耳の本拠地となる
37	1914年：牛耳の本拠地となる
38	1915年：牛耳の本拠地となる
39	1916年：牛耳の本拠地となる
40	1917年：牛耳の本拠地となる
41	1918年：牛耳の本拠地となる
42	1919年：牛耳の本拠地となる
43	1920年：牛耳の本拠地となる
44	1921年：牛耳の本拠地となる
45	1922年：牛耳の本拠地となる
46	1923年：牛耳の本拠地となる
47	1924年：牛耳の本拠地となる
48	1925年：牛耳の本拠地となる
49	1926年：牛耳の本拠地となる
50	1927年：牛耳の本拠地となる
51	1928年：牛耳の本拠地となる
52	1929年：牛耳の本拠地となる
53	1930年：牛耳の本拠地となる
54	1931年：牛耳の本拠地となる
55	1932年：牛耳の本拠地となる
56	1933年：牛耳の本拠地となる
57	1934年：牛耳の本拠地となる
58	1935年：牛耳の本拠地となる
59	1936年：牛耳の本拠地となる
60	1937年：牛耳の本拠地となる
61	1938年：牛耳の本拠地となる
62	1939年：牛耳の本拠地となる
63	1940年：牛耳の本拠地となる
64	1941年：牛耳の本拠地となる
65	1942年：牛耳の本拠地となる
66	1943年：牛耳の本拠地となる
67	1944年：牛耳の本拠地となる
68	1945年：牛耳の本拠地となる
69	1946年：牛耳の本拠地となる
70	1947年：牛耳の本拠地となる
71	1948年：牛耳の本拠地となる
72	1949年：牛耳の本拠地となる
73	1950年：牛耳の本拠地となる
74	1951年：牛耳の本拠地となる
75	1952年：牛耳の本拠地となる
76	1953年：牛耳の本拠地となる
77	1954年：牛耳の本拠地となる
78	1955年：牛耳の本拠地となる
79	1956年：牛耳の本拠地となる
80	1957年：牛耳の本拠地となる
81	1958年：牛耳の本拠地となる
82	1959年：牛耳の本拠地となる
83	1960年：牛耳の本拠地となる
84	1961年：牛耳の本拠地となる
85	1962年：牛耳の本拠地となる
86	1963年：牛耳の本拠地となる
87	1964年：牛耳の本拠地となる
88	1965年：牛耳の本拠地となる
89	1966年：牛耳の本拠地となる
90	1967年：牛耳の本拠地となる
91	1968年：牛耳の本拠地となる
92	1969年：牛耳の本拠地となる
93	1970年：牛耳の本拠地となる
94	1971年：牛耳の本拠地となる
95	1972年：牛耳の本拠地となる
96	1973年：牛耳の本拠地となる
97	1974年：牛耳の本拠地となる
98	1975年：牛耳の本拠地となる
99	1976年：牛耳の本拠地となる
100	1977年：牛耳の本拠地となる
101	1978年：牛耳の本拠地となる
102	1979年：牛耳の本拠地となる
103	1980年：牛耳の本拠地となる
104	1981年：牛耳の本拠地となる
105	1982年：牛耳の本拠地となる
106	1983年：牛耳の本拠地となる
107	1984年：牛耳の本拠地となる
108	1985年：牛耳の本拠地となる
109	1986年：牛耳の本拠地となる
110	1987年：牛耳の本拠地となる
111	1988年：牛耳の本拠地となる
112	1989年：牛耳の本拠地となる
113	1990年：牛耳の本拠地となる
114	1991年：牛耳の本拠地となる
115	1992年：牛耳の本拠地となる
116	1993年：牛耳の本拠地となる
117	1994年：牛耳の本拠地となる
118	1995年：牛耳の本拠地となる
119	1996年：牛耳の本拠地となる
120	1997年：牛耳の本拠地となる
121	1998年：牛耳の本拠地となる
122	1999年：牛耳の本拠地となる
123	2000年：牛耳の本拠地となる
124	2001年：牛耳の本拠地となる
125	2002年：牛耳の本拠地となる
126	2003年：牛耳の本拠地となる
127	2004年：牛耳の本拠地となる
128	2005年：牛耳の本拠地となる
129	2006年：牛耳の本拠地となる
130	2007年：牛耳の本拠地となる
131	2008年：牛耳の本拠地となる
132	2009年：牛耳の本拠地となる
133	2010年：牛耳の本拠地となる
134	2011年：牛耳の本拠地となる
135	2012年：牛耳の本拠地となる
136	2013年：牛耳の本拠地となる
137	2014年：牛耳の本拠地となる
138	2015年：牛耳の本拠地となる
139	2016年：牛耳の本拠地となる
140	2017年：牛耳の本拠地となる
141	2018年：牛耳の本拠地となる
142	2019年：牛耳の本拠地となる
143	2020年：牛耳の本拠地となる
144	2021年：牛耳の本拠地となる
145	2022年：牛耳の本拠地となる
146	2023年：牛耳の本拠地となる
147	2024年：牛耳の本拠地となる
148	2025年：牛耳の本拠地となる
149	2026年：牛耳の本拠地となる
150	2027年：牛耳の本拠地となる
151	2028年：牛耳の本拠地となる
152	2029年：牛耳の本拠地となる
153	2030年：牛耳の本拠地となる
154	2031年：牛耳の本拠地となる
155	2032年：牛耳の本拠地となる
156	2033年：牛耳の本拠地となる
157	2034年：牛耳の本拠地となる
158	2035年：牛耳の本拠地となる
159	2036年：牛耳の本拠地となる
160	2037年：牛耳の本拠地となる
161	2038年：牛耳の本拠地となる
162	2039年：牛耳の本拠地となる
163	2040年：牛耳の本拠地となる
164	2041年：牛耳の本拠地となる
165	2042年：牛耳の本拠地となる
166	2043年：牛耳の本拠地となる
167	2044年：牛耳の本拠地となる
168	2045年：牛耳の本拠地となる
169	2046年：牛耳の本拠地となる
170	2047年：牛耳の本拠地となる
171	2048年：牛耳の本拠地となる
172	2049年：牛耳の本拠地となる
173	2050年：牛耳の本拠地となる
174	2051年：牛耳の本拠地となる
175	2052年：牛耳の本拠地となる
176	2053年：牛耳の本拠地となる
177	2054年：牛耳の本拠地となる
178	2055年：牛耳の本拠地となる
179	2056年：牛耳の本拠地となる
180	2057年：牛耳の本拠地となる
181	2058年：牛耳の本拠地となる
182	2059年：牛耳の本拠地となる
183	2060年：牛耳の本拠地となる
184	2061年：牛耳の本拠地となる
185	2062年：牛耳の本拠地となる
186	2063年：牛耳の本拠地となる
187	2064年：牛耳の本拠地となる
188	2065年：牛耳の本拠地となる
189	2066年：牛耳の本拠地となる
190	2067年：牛耳の本拠地となる
191	2068年：牛耳の本拠地となる
192	2069年：牛耳の本拠地となる
193	2070年：牛耳の本拠地となる
194	2071年：牛耳の本拠地となる
195	2072年：牛耳の本拠地となる
196	2073年：牛耳の本拠地となる
197	2074年：牛耳の本拠地となる
198	2075年：牛耳の本拠地となる
199	2076年：牛耳の本拠地となる
200	2077年：牛耳の本拠地となる
201	2078年：牛耳の本拠地となる
202	2079年：牛耳の本拠地となる
203	2080年：牛耳の本拠地となる
204	2081年：牛耳の本拠地となる
205	2082年：牛耳の本拠地となる
206	2083年：牛耳の本拠地となる
207	2084年：牛耳の本拠地となる
208	2085年：牛耳の本拠地となる
209	2086年：牛耳の本拠地となる
210	2087年：牛耳の本拠地となる
211	2088年：牛耳の本拠地となる
212	2089年：牛耳の本拠地となる
213	2090年：牛耳の本拠地となる
214	2091年：牛耳の本拠地となる
215	2092年：牛耳の本拠地となる
216	2093年：牛耳の本拠地となる
217	2094年：牛耳の本拠地となる
218	2095年：牛耳の本拠地となる
219	2096年：牛耳の本拠地となる
220	2097年：牛耳の本拠地となる
221	2098年：牛耳の本拠地となる
222	2099年：牛耳の本拠地となる
223	2100年：牛耳の本拠地となる
224	2101年：牛耳の本拠地となる
225	2102年：牛耳の本拠地となる
226	2103年：牛耳の本拠地となる
227	2104年：牛耳の本拠地となる
228	2105年：牛耳の本拠地となる
229	2106年：牛耳の本拠地となる
230	2107年：牛耳の本拠地となる
231	2108年：牛耳の本拠地となる
232	2109年：牛耳の本拠地となる
233	2110年：牛耳の本拠地となる
234	2111年：牛耳の本拠地となる
235	2112年：牛耳の本拠地となる
236	2113年：牛耳の本拠地となる
237	2114年：牛耳の本拠地となる
238	2115年：牛耳の本拠地となる
239	2116年：牛耳の本拠地となる
240	2117年：牛耳の本拠地となる
241	2118年：牛耳の本拠地となる
242	2119年：牛耳の本拠地となる
243	2120年：牛耳の本拠地となる
244	2121年：牛耳の本拠地となる
245	2122年：牛耳の本拠地となる
246	2123年：牛耳の本拠地となる
247	2124年：牛耳の本拠地となる
248	2125年：牛耳の本拠地となる
249	2126年：牛耳の本拠地となる
250	2127年：牛耳の本拠地となる
251	2128年：牛耳の本拠地となる
252	2129年：牛耳の本拠地となる
253	2130年：牛耳の本拠地となる
254	2131年：牛耳の本拠地となる
255	2132年：牛耳の本拠地となる
256	2133年：牛耳の本拠地となる
257	2134年：牛耳の本拠地となる
258	2135年：牛耳の本拠地となる
259	2136年：牛耳の本拠地となる
260	2137年：牛耳の本拠地となる
261	2138年：牛耳の本拠地となる
262	2139年：牛耳の本拠地となる
263	2140年：牛耳の本拠地となる
264	2141年：牛耳の本拠地となる
265	2142年：牛耳の本拠地となる
266	2143年：牛耳の本拠地となる
267	2144年：牛耳の本拠地となる
268	2145年：牛耳の本拠地となる
269	2146年：牛耳の本拠地となる
270	2147年：牛耳の本拠地となる
271	2148年：牛耳の本拠地となる
272	2149年：牛耳の本拠地となる
273	2150年：牛耳の本拠地となる
274	2151年：牛耳の本拠地となる
275	2152年：牛耳の本拠地となる
276	2153年：牛耳の本拠地となる
277	2154年：牛耳の本拠地となる
278	2155年：牛耳の本拠地となる
279	2156年：牛耳の本拠地となる
280	2157年：牛耳の本拠地となる
281	2158年：牛耳の本拠地となる
282	2159年：牛耳の本拠地となる
283	2160年：牛耳の本拠地となる
284	2161年：牛耳の本拠地となる
285	2162年：牛耳の本拠地となる
286	2163年：牛耳の本拠地となる
287	2164年：牛耳の本拠地となる
288	2165年：牛耳の本拠地となる
289	2166年：牛耳の本拠地となる
290	2167年：牛耳の本拠地となる
291	2168年：牛耳の本拠地となる
292	2169年：牛耳の本拠地となる
293	2170年：牛耳の本拠地となる
294	2171年：牛耳の本拠地となる
295	2172年：牛耳の本拠地となる
296	2173年：牛耳の本拠地となる
297	2174年：牛耳の本拠地となる
298	2175年：牛耳の本拠地となる
299	2176年：牛耳の本拠地となる
300	2177年：牛耳の本拠地となる
301	2178年：牛耳の本拠地となる
302	2179年：牛耳の本拠地となる
303	2180年：牛耳の本拠地となる
304	2181年：牛耳の本拠地となる
305	2182年：牛耳の本拠地となる
306	2183年：牛耳の本拠地となる
307	2184年：牛耳の本拠地となる
308	2185年：牛耳の本拠地となる
309	2186年：牛耳の本拠地となる
310	2187年：牛耳の本拠地となる
311	2188年：牛耳の本拠地となる
312	2189年：牛耳の本拠地となる
313	2190年：牛耳の本拠地となる
314	2191年：牛耳の本拠地となる
315	2192年：牛耳の本拠地となる
316	2193年：牛耳の本拠地となる
317	2194年：牛耳の本拠地となる
318	2195年：牛耳の本拠地となる
319	2196年：牛耳の本拠地となる
320	2197年：牛耳の本拠地となる
321	2198年：牛耳の本拠地となる
322	2199年：牛耳の本拠地となる
323	2200年：牛耳の本拠地となる
324	2201年：牛耳の本拠地となる
325	2202年：牛耳の本拠地となる
326	2203年：牛耳の本拠地となる
327	2204年：牛耳の本拠地となる
328	2205年：牛耳の本拠地となる
329	2206年：牛耳の本拠地となる
330	2207年：牛耳の本拠地となる
331	2208年：牛耳の本拠地となる
332	2209年：牛耳の本拠地となる
333	2210年：牛耳の本拠地となる
334	2211年：牛耳の本拠地となる
335	2212年：牛耳の本

2. 資料で見る「カライモ」の歴史

種子島家の歴史を記している「種子島家譜」には、以下のように記されています。



【意味】

元禄11年、薩摩王から贈られた甘藷を伊時(久基)が中根の西村源右衛門時俊に命じて石寺で栽培させた。これが、日本の甘藷栽培の始まりである。

久基は、度重なる試験の後見作物として、球根で栽培されているカライモに関心を寄せさせてました。元禄11年（1698）3月、琉球王尚貞に贈呈して1籠の寄附を受け、栽培を命じる。カライモの栽培が可能と分かると、島内の普及に尽力を尽くします。

以後、鹿児島（鹿児島）はもとより日本全国に広まつた。鹿児島県山川の前田利右衛門の甘藷栽培は7年後、「甘藷先生」と呼ばれた青木虎胤の誕生は、この年です。

種子島家譜



種子島家譜の記述（種子島のひ葉）が種子島時代の頃に、種子、島久、本丸の三上二島の領主となって以来、27代守母の治時24年（1698）の記録まで約400年前の種子島の政治・経済・文化、軍事、軍事行動、島内の諸事実のほか、延次島や大蔵などの对外関係、外國との交渉を物語る貴重な史料となっています。

鹿児島県歴史文化館（有形文化財）
昭和30年1月21日指定

琉球との交易

種子島と琉球は、古くから交易を行っている。それを中心とする資料がある。



一部拡大

琉球國、安貞王から、18代久松公へ寄贈米蕃谷（
久基）が決算したことへのお祝いとして、太刀や土管の布などとともに保証書が送られている。甘藷供給前の時代なので、米蕃谷（保証）かと推測される。

～カライモクイズ～

問題2

カライモの普及に尽力をつくした種子島久基を祀っている神社は、何神社でしょうか？

答え → 3のパネルを見てね！

問題1の答え

19代目

■「種子島家譜」の島主時尚時、14代目

種子島家譜時代の島主

代号	島主名	ふりがな
1代	信基	のぶもと
2代	信朝	のぶのり
3代	信真	のぶまさ
4代	真時	まさとき
5代	時基	ときのと
6代	時充	ときみつ
7代	時照	ときのぞ
8代	時清	ときよき
9代	時長	ときなが
10代	時輔	ときのすけ
11代	時氏	ときのし
12代	忠時	ただとき
13代	久連	ひさとし
14代	時義	ときよし
15代	時次	ときつぐ
16代	久時	ひさとき
17代	忠時	ただとき
18代	久時	ひさとき
19代	久基	ひさとも
20代	久連	ひさとし
21代	久芳	ひさよし
22代	久照	ひさのぞ
23代	久連	ひさとし
24代	久連	ひさとし
25代	久尚	ひさむか
26代	時丸	ときまる
27代	守時	もりとき
28代	時望	ときもち
29代	時邦	ときとに

3. カライモの神様とカライモ神社



種子島久基

寛文4年(1664)・寛保元年(1741)

既:18代久時の子

子:19代久進・他

姓名:朝利後丸

初名:義時・伊時

通称:三郎二郎・左内・洋正・号耕林

官職を継いだのは、宝永7年(1710)6月、45歳の時

種子島久基の功績

▶ カライモ復興に尽力

カライモは、2~3年で島内に広がったとされ、その後、漁港に倒れたとされる。宝徳8年(1733)には、西日本で栽培する者が十数万人であったが、底岸はカライモによって、死を免れられた者が多かったといわれている。



▶ 稲作、製鐵の復興

製鐵、製糸は江戸時代の時から始められている。特に製鐵は、鹿野村(現在:鹿野武部郷)に製鐵所を起こし、ついで製糸して汎用への転化を図った。種子島は、鹿の海岸などに分布される海岸が多かった。



▶ その他

・ハゼの捕獲
・穀の貯蔵
・製糸、製糸
・種植、秋前
・等

大的始式



12代島主忠時が明応9年(1490)の南朝役として指揮官として武田信玄守光長が笠置丸(500)宮中で行われた御始式を伝えたのがその起源であり、すでに500年以上にわたり受け継がれている。

種子島御始式文化財(無形民俗文化財)
平成14年1月10日指定

種子島墓地



御寺墓地



御寺墓地

問題2の答え

御寺神社

【御寺神社】種子島久基(号は忠林)
御寺神社は、文政3年(1820)、久基が御
寺の墓地の守護神などの数々の御靈に供
養し、その祀りを受領に伝えるため本廟
の創建(現在:鹿毛
支度場所)に遷座さ
れ、その後、現在地
に移転されている。

レクチャー

【松原院】

松原院は寛政9年(1797) 26代龍厚院(元
為育寺の女として藍光院に生まれ、文
化2年(1811) 23代法子となる久遠と結婚。
龍厚院で夫が死別
し、それを跡取る22代
代久慈が法子とな
るまで、義母のた
めにひすら吉葉
と號した。

~カライモクイズ~

問題3

甘藷が伝来した際、種子島で初めて栽培が始まります。その場所は、西之表市のどこの地域でしょうか?

答え → 4のパネルを見てね!

4. 大瀬休左衛門とカライモ栽培



大瀬休左衛門より
9代子孫の大瀬良行さん

初めてカライモを栽培したといわれる畠

久益よりカライモの栽培を命じられたのは、下石寺の農民、大瀬休左衛門でした。休左衛門は、苦勞の末、カライモの栽培に成功。カライモは、これを期に島内、そして全国へと広がっています。零真は、島内で初めて休左衛門が栽培したという細です。現在も、子孫である大瀬家が大切に守っています。

この畠を中心に作られたカライモは、毎年10月
18日に久益を祀る植林祭日に獻上されます。

同じ時期、下石寺の農民では、大瀬休左衛門
夫婦の墓の前に今年またされたカライモを手籠みにし
て、豊作祝いと先祖の感謝を込めて供えます。

以前は、大瀬
家だけ行っていた
ましたが、現在
は地域住民全員
で行っています。



大瀬休左衛門夫婦の墓に
献てあるカライモ

大瀬良行さんの話

当時、カライモの栽培を命じられたとき、
大瀬良行であることである一方、初めての作物苦
悶感することに想慮を持かないほど不安だった
たのではないでしょうか。それでも、先祖は
カライモの栽培に成功し、そこから全國に広
がったといわれると、とても誇りに思いま
す。先祖が教えてくれたこの技術を私たちも
次の世代に伝えていきたいと思います。

日本甘藷栽培初地之碑

下石寺神社すぐ近く国道50号線沿いに
日本甘藷栽培初地之碑がある。



日本甘藷栽培初地之碑

「本邦」の語には海上に船が種子島に
到まり、種子島は我が下石寺を以て試作
の地とす。故に建てて日本甘藷栽培初
地之碑と曰ふ。初め柄木公、舟を回らや、
左瀬民に在り、曾て收入より甘藷の利を聞
き、折衝して之を求む。元禄十一年度實
三月。中山王禹貞一體を誌る…」

大瀬休左衛門夫婦の墓

下石寺地区の共同墓地の一角に大瀬休左衛門夫婦の墓がある。今でも、子孫の方々が、お墓に花を供え大切に管理している。



久益が栽培作物として取り寄せた甘藷を、休左衛門が誓心の米。

下石寺の境で元禄19年（1696）日本で初めて栽培地を決める

た功績に対し褒美として久益公から下賜されたものである。

以後、甘藷の栽培により種子島は漸くから後退されることとなつた。

鹿児島県農芸文化館（無形民俗文化館）
平成16年1月22日撮影

～カライモクイズ～

問題4

カライモは、ある植物と同じ科です。それは、次の内どれでしょうか？

1. ヒマワリ 2. ヒルガオ 3. パラ

答え → 5のパネルを見てね！

問題3の答え

下石寺地区

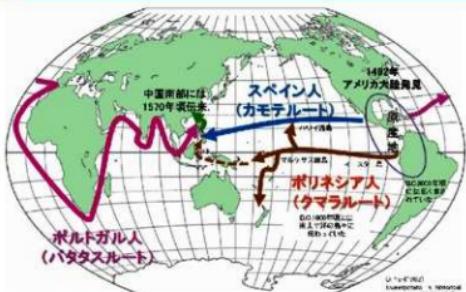
日本甘藷栽培初地之碑

大瀬休左衛門は、元禄19年（1696）生ま
れ、開拓を仕事とし、彼ら農業を發展させ
た。彼の功績で「甘藷の開拓者」として褒め
られ、久益公に勅命を得ていた。せせらぎ亭
は、すでに野原の高臺であった。又桂川
河、御前川河。

【久益より与えられた褒美】

- ・人馬と
 - ・足立一束
 - ・休左衛門の老健蔵（生前に作られた墨）
- 是の間、鹿児島県を主導的に土産の貿易をするところになかった。それで、左石寺門のカライモ栽培成功の功績は人々が喜びたことが伝わる。

5. カライモのルーツを探る



起源を探して

カライモの起源は、現在のアンデス山脈（エクアドル、ペルー海岸にかけて）とされています。その後、世界中に伝播したとされていますが、詳しいルートは分かっていません。伝播ルートが存在します。

- ルート1 クラマ・ルート ···· ヨーロッパ人が南米にくる前から伝播した
- ルート2 バタス・ルート ···· 14世紀コロンブスがヨーロッパに持て帰った
- ルート3 カモチ・ルート ···· スペイン人がフィリピンに伝えた

アジアへの伝播

カライモのアジア伝播は、大航海時代のポルトガル、スペインが影響したとされています。特に、スペインの植民地だったフィリピンでは、メキシコより直接運び込まれたといわれ、後に16世紀末中国に伝播しました。（特に中国南部では現在も生産し流通に参画）

琉球へ伝来

1605年 亂世(現在:沖縄県)に朝貢來

琉球へは那国連鎖島、中國総督省から北谷町の男爵（現在：喜連町）に持ち帰ったとされています。那爵の地頭だった張間嘉吉の功績もあり、15世紀で琉球が全國に広がったとされます。

カライモの呼び方

カライモは、世界各國では以下のように呼ばれてています。

言語	翻訳	日本語読み
日本語	甘藷（サツマイモ）	カシミョウ
英語	Sweet potato	スイート・ポテト
中国語	蕃薯	ホンショウ
スペイン語	Camote	カモチ
ポルトガル語	Batata doce	バタ・タ・ドス
オランダ語	Zette, batatou	ズッタ・アーダホ
韓国語	감자	コグマ
インドネシア語	Kelai jalar	ウ・ビジャラ
ベトナム語	Khoai lang	ク・アイラン
ヒンドゥー語	Hrot jama	ミン・タール

問題3の答え

2. ヒルガオ

カライモは、ヒルガオの仲間です。
現在のカライモも品種改良でもヒルガオは使用されています。



【ヨーロッパにはカライモはない】

ヨーロッパは、近海を除いてしまだないで、ヨーロッパではまだ生息していない。（ヒルガオルーギの分布地）

ヨーロッパは東洋では有りませんが、カブトガリの分布地

【ヨーロッパから】

【野菜紹介】

野菜村（注：喜手納町）に移されつつ、先祖ノハグロと人ど明かりがなっていいない。中国に渡りヒュウガ神子通りに植栽からひきやをついた。「シムギ堂」（シムギ堂は「イイ」のこと）と呼ばれ、「沖縄農業の恩人」と一人として称えられている。

【リンネ】

スウェーデン出身の科学者、「分類学の父」といわれる。

植物界を系統的に整理し、栽培する方法を発見させ、その分類学体系に基づいて2700種の生物を400種の類似を示した。

現在の名前

- 1753年 分類学の創始者林奈（Linnaeus）によって、分類学的に属名
コンドルラス・バタース（Convolvulus batatas）と命名
- 1784年 リネルとセュンペリー（Linné & Sonnerup）によって、
コンドルラス・エデリス（Convolvulus edulis）とされる
- 1834年 学名シグロ（Schoerl）が、カライモと形容的で属する
植物界をBatatas科とする概念を発表し、バタース・エデリス
(Batatas edulis)と命名。
- 現在 分類学が進歩し、イギリス・バタース（Ipomoea batatas(L.) Lam.）とされる。
- 日本語で“根性で地下部にイモができる植物”という意味

現在の学名

- ・Ipomoea サツマイモの学名
- ・Batatas “イモ”という意味が含まれる
- ・Lam. リネルの名前の学名
- ・Lam ラマヌカの名前の種階名

～ カライモクイズ～

問題5

日本初栽培地として知られる種子島ですが、種子島より古い時代に栽培された記録された島があります。何島でしょうか？

沖縄県ではありません。沖縄県は当時、「西表島」という日本では違う島でした。

答え → 6のパネルを見てね！

6. カライモの全国への広まり

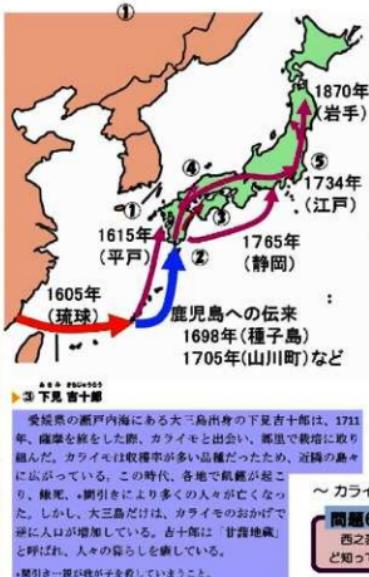
日本各地の広まり

① ウィリアム・アダムズ

長崎藩の平戸には、種子島よりも早く、カライモが栽培されたという記録がある。イギリス人のウィリアム・アダムスが薩摩よりお土産として貰ってきたカライモを、1615年、平戸のイギリス商船会館クックスが試しに栽培したと日記に書かれている。しかし、この栽培されたとされる甘藷は、記録上に見られるだけで、そこから地域に広まつた様子はない。

② 前田 利右衛門

鹿児島県の山川町出身の前田利右衛門は琉球を訪れた際、琉球の地で栽培されていた甘藷に感銘し、1705年、都里に持ち帰って種地に取り組み栽培に成功させた。鹿児島の栽培したやせかわ山地に育つカライモは、台風にも強く、鹿児島本土に重要作物として広まった。その後サツマイモとして、全国に広がったとされる。利右衛門は、「甘藷翁」と感謝の気持ちをこめて地元の人々に呼ばれている。



③ 下見 吉十郎

愛媛県の瀬戸内海にある大三島出身の下見吉十郎は、1711年、薩摩を経た際、カライモと出会い、郷里で栽培に取り組んだ。カライモは収穫率が多い品種だったため、近隣の島々に広がっている。この時代、各地で飢饉が起これ、難死、闇引きにより多くの人々が亡くなった。しかし、大三島だけは、カライモのおかげで逆に人口が増加している。吉十郎は「甘藷地蔵」と呼ばれ、人々の暮らしを癒している。
・闇引き一夜が我が子を救していまうこと。

④ 井戸 正明

島根県にも甘藷を伝えた恩人「いも代官」井戸正明という人がいた。航運により人々の生活が苦しくなったとき、薩摩よりカライモを取り寄せ、栽培を試みる。しかし、カライモは寒い土地では育ちにくく栽培を放棄するまでには至らなかった。正明は自分の命に代々農民に尽くした。その後、寒い地方でも育つ栽培法が見つかり、近隣の村々に伝わったとされる。

⑤ 青木 昆図

「甘藷先生」として名の知られる青木昆図は、薩摩の国よりカライモを取り寄せ、開港を中心に行商を中心に「サツマイモ」の名で開港中心に広めた。経済の牧場業として井戸徳川吉宗より命を受け、1735年、最初のカライモの栽培に成功。この功績により、カライモは一気に加速して、全國に広まる。昆図は、その後、開港の基礎を築いた学者としても知られるようになる。

問題7の答え

長崎県

日本におけるカライモ初栽培地は、長崎でも多く存在します。長崎、鹿児島、愛媛など。ただ、残念ながら当書に記す史料が残っていないのか、その箇所で読むと日本に広がったのかはわからず、記述が多くあります。ただ、甘藷は本筋の主題として、鹿児島島民からカライモが全国に広まっていたことは間違いありません。



作物学史の戸田義典氏から

羽生忠治氏の手稿

昭和16年

羽生氏の著書への序文として、甘藷伝来について以下の考察を説明しているらし。青木黒膳先生が仕掛に間にて有名なのは、開港方面に於いて栽培普及の功績を残したからであり、伝来そのものの創始者ではない。様々な説があるが、どれも明白ではない。私は農業の研究者であり、歴史に関しては不勉強だが、久松公にちとより横的な先生が、大変な苦労をして甘藷を普及させたことを評している。という内容。

～カライモクイズ～

問題6

西之表市が種子島からも伝来300周年記念で郵便切手を発行、市民がほとんど知っているカライモソングがあります。そのタイトルはなんでしょうか？

答え → 7のパネルを見てね！

7. 現在のカライモ事業



種子島のブランド“安納いも”

安納いもは、現在、種子島を代表するカライモです。

安納いもの特徴として、皮は赤みがかり、鮮やかなオレンジ色をしています。ゆっくり時間をかけて焼くとより一層美味しいくなり、まるでクリームのような食感になります。糖度は、生の状態で16度にもなる安納いもですが、とても低カロリーで、カロテンや食物繊維をたっぷり含めています。

種子島からいも伝来300周年

西之表市では、平成11年に「市政施行40周年・からいも伝来300周年記念式典」を行ない、からいも関連の様々なイベントを開催しました。

この時、からいもソング歌詞を全国に公募し、最優秀賞に選ばれたのが「からいもくん」です。この歌は、西之表市の代表曲として、市民体育祭などで西之表市内の園児たちが踊るマスゲームの曲として使われています。現在でも、西之表市民に深しまでいる歌の一つとなっています。



安納いもブランド推進本部

消費者の皆様に安心・安全で、おいしい安納いもをお届けするため、生産者および西之表市、中郷町、南郷町の3市町と西之表島、種子島久による「安納いもブランド推進本部」を平成22年7月29日に設立しました。商品技術の実上げもとより、品質基準を島内で統一して管理、生産する取組を行っています。



公認キャラクター

べいくん

こがねちゃん

今年は、どこの料理がグランプリになるのでしょうか？



2014年グランプリ
リーパー・ドルフィンさんの
【安納いもキャラクター】

問題6の答え

からいもくん

作詞:高橋 実美 作曲:齊藤 邦輔
歌:からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
名前はからいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)

歌:からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
名前はからいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)

歌:からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)

歌:からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
からいもくん(モモイロイモちゃん)

歌:からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)
歌くは、からいもくん(モモイロイモちゃん)

クイズは、これで終わりです！
君は、何問正解できたかな？